

令和元年 10 月 12 日
予 報 部

5 県に大雨特別警報発表

本日 12 日 19 時 50 分に 5 県（茨城県、栃木県、新潟県、福島県、宮城県）の市町村に追加で大雨特別警報を発表しました。大雨に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

15 時 30 分に大雨特別警報を発表している 7 都県（静岡県、神奈川県、東京都、埼玉県、群馬県、山梨県、長野県）を合わせて、大雨特別警報の発表は 12 都県に及んでいます。

問合せ先：予報部 業務課 電話 03-3211-8302

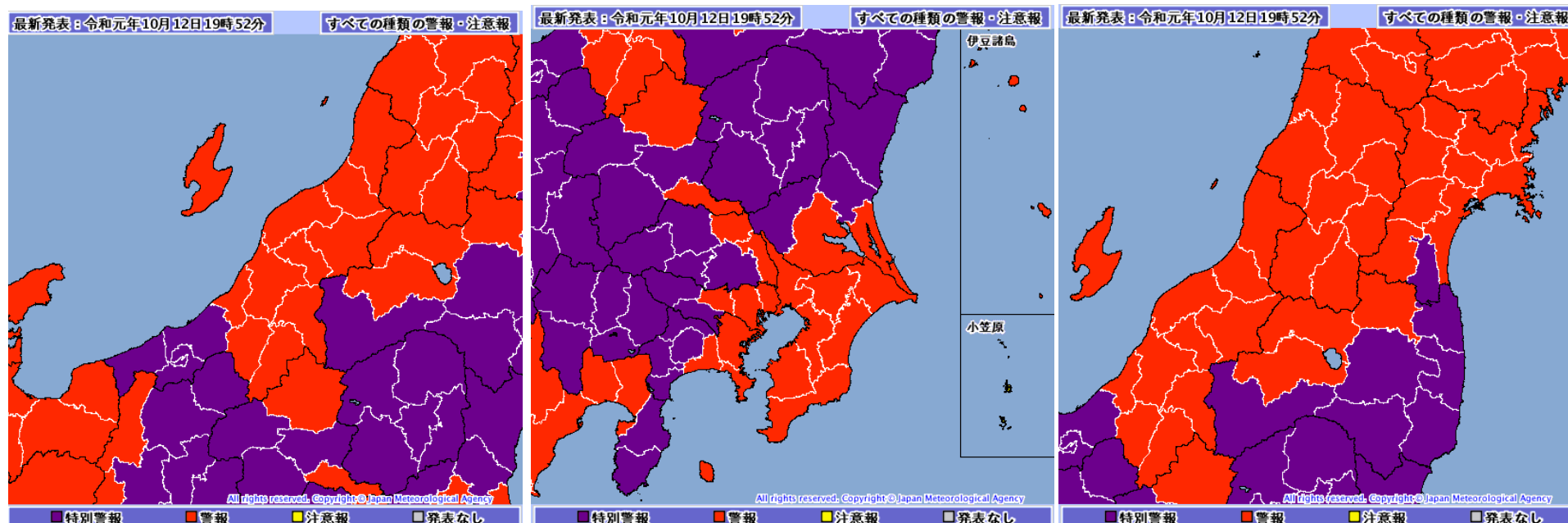
5県に大雨特別警報発表

- 5県(茨城県、栃木県、新潟県、福島県、宮城県)の市町村にも大雨特別警報を発表しました。特別警報を発表した市町村では、これまでに経験したことのないような大雨となっています。
- 特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域などでは、土砂崩れや浸水による何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、直ちに命を守るために最善を尽くす必要のある警戒レベル5に相当する状況です。
※ あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、安全を確保することが重要です。それすら危険な場合には、山と反対側の二階以上の部屋に退避するなど、少しでも命が助かる可能性の高い行動をとることが重要です。
- また、普段災害が起きないと思われているような場所でも最大級の警戒が必要です。
- 今後、他の市町村にも大雨特別警報を発表する可能性があります。特別警報が発表されてからでは避難が困難となります。自分の命、大切な人の命を守るため、特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難勧告等(警戒レベル4)に直ちに従い緊急に避難してください。
- 現在夜間であることから、避難する際には周囲の状況を十分に確認してください。
- 今いる場所の災害発生の危険度を気象庁HP等の「危険度分布」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象庁HP：<https://www.ima.go.jp/ima/index.html>)

特別警報・警報の発表状況

10月12日
20時時点の資料

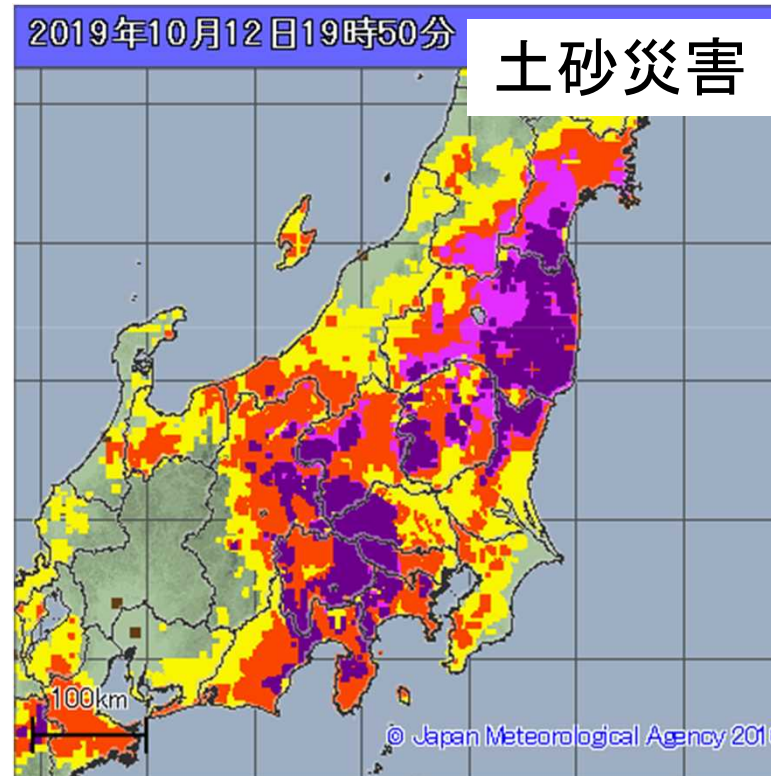


特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「危険度分布」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.ima.go.jp/ip/warn/>)

危険度分布

10月12日
20時時点の資料



大雨警報（土砂災害）の危険度分布
（土砂災害警戒判定メッシュ情報）

高	極めて危険	【警戒レベル4相当】
危険度	非常に危険	【警戒レベル4相当】
	警戒	【警戒レベル3相当】
	注意	【警戒レベル2相当】
低	今後の情報等に留意	

- 危険度分布において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度（濃い紫）となっている場所では、土砂崩れや浸水により、すでに避難が困難となっているおそれがあります。
- 上から2段階目の危険度（うす紫）となっている場所では、災害が切迫し、避難が必要とされる警戒レベル4に相当する状況です。
- これらの場所において、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、直ちに避難の判断をしてください。

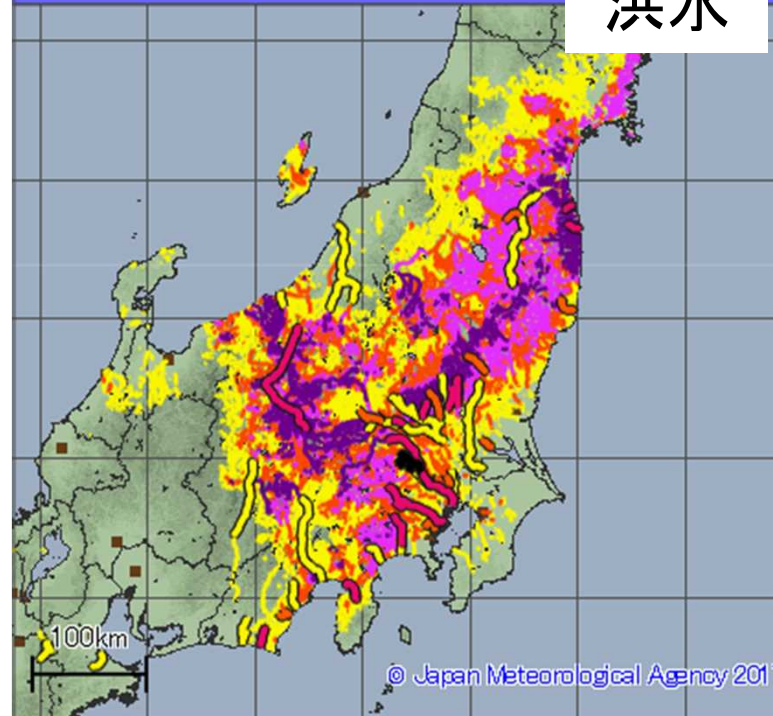
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（危険度分布：<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>）

危険度分布

10月12日
20時時点の資料

2019年10月12日19時50分

洪水



指定河川洪水予報

高	氾濫発生情報	【警戒レベル5相当】
危険度	氾濫危険情報	【警戒レベル4相当】
	氾濫警戒情報	【警戒レベル3相当】
低	氾濫注意情報	【警戒レベル2相当】
	発表なし	

洪水警報の危険度分布

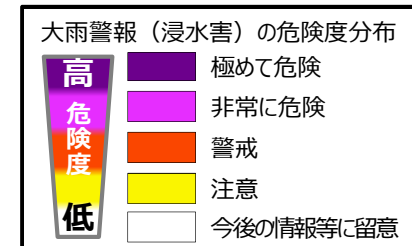
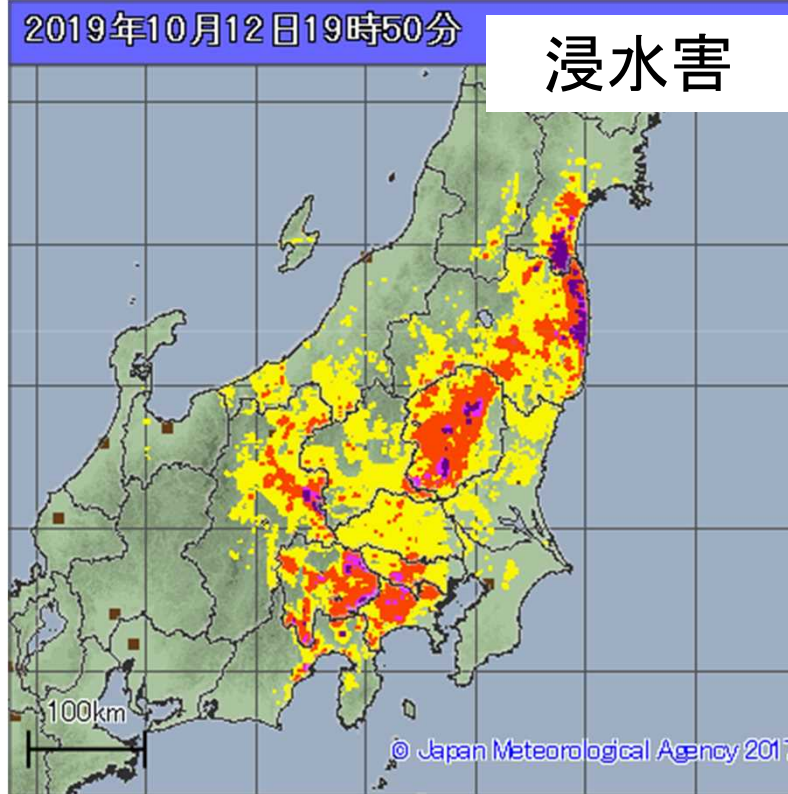
高	極めて危険	
危険度	非常に危険	【警戒レベル4相当】
	警戒	【警戒レベル3相当】
低	注意	【警戒レベル2相当】
	今後の情報等に留意	

- 危険度分布において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度（濃い紫）となっている場所では、土砂崩れや浸水により、すでに避難が困難となっているおそれがあります。
- 上から2段階目の危険度（うす紫）となっている場所では、災害が切迫し、避難が必要とされる警戒レベル4に相当する状況です。
- これらの場所において、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、直ちに避難の判断をしてください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(危険度分布：<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>)

危険度分布

10月12日
20時時点の資料

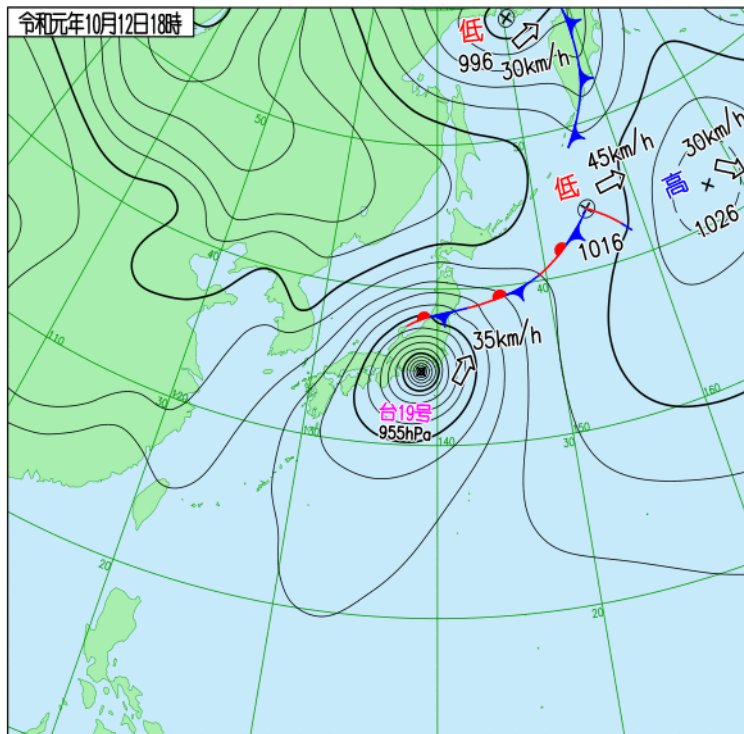


- 浸水害についての危険度分布において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度（濃い紫）となっている場所では、道路冠水や家屋浸水がすでに発生している可能性が高い状況です。そうなる前に、各自の判断で浸水が及ばない上層階に移動するなど安全を確保することが重要です。
- 土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、道路冠水等が発生している場所を移動すると、かえって命の危険を伴う場合があります。指定された避難場所に向かうことにこだわらず、避難先を自ら判断することも重要です。

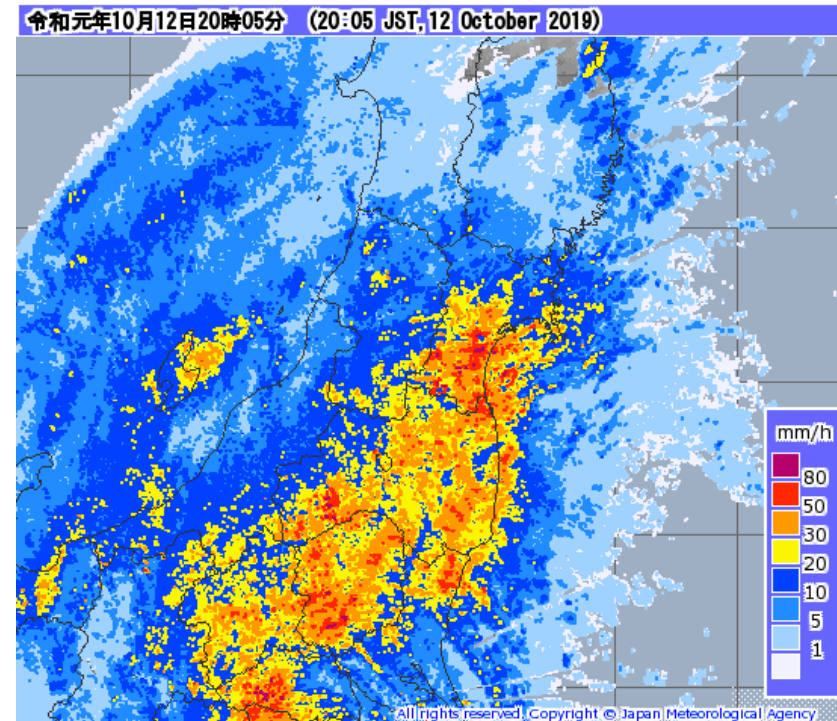
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(危険度分布：<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>)

気象実況

10月12日
20時時点の資料



地上天気図



雨雲の様子

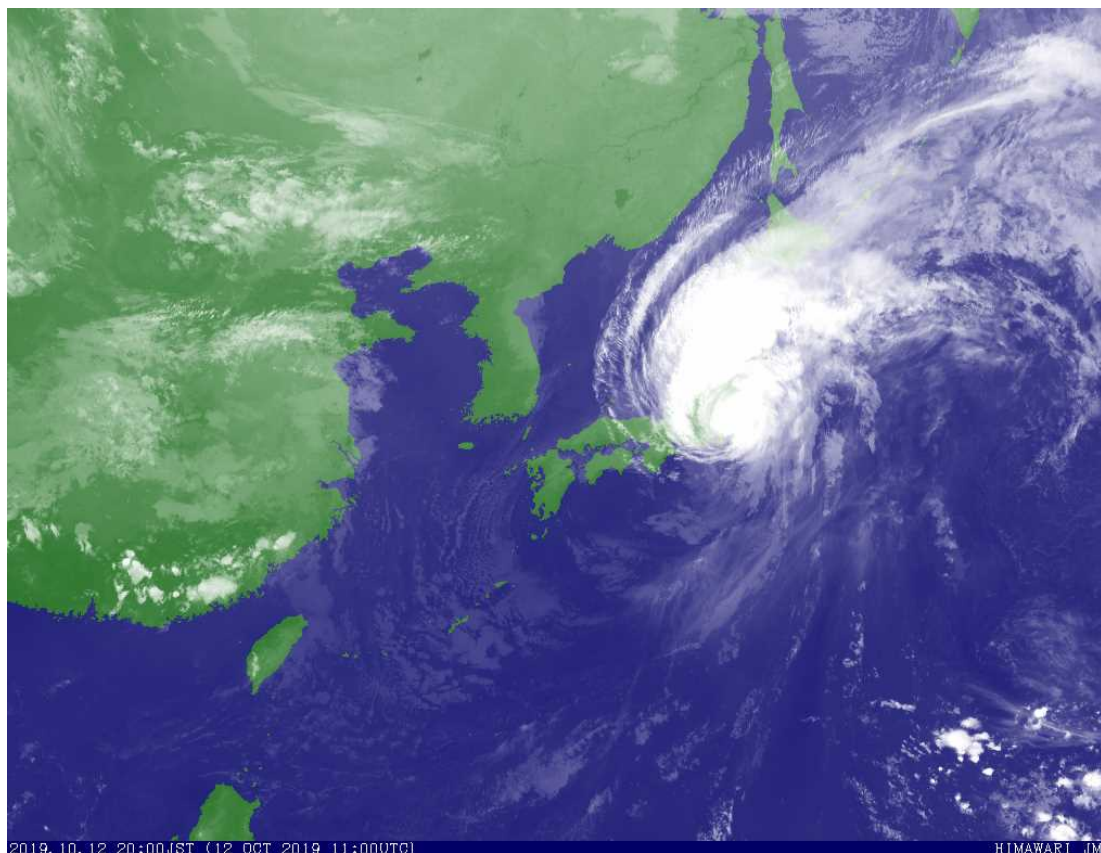
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(天気図：<https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)

(雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト)：<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>)

気象実況

10月12日
20時時点の資料

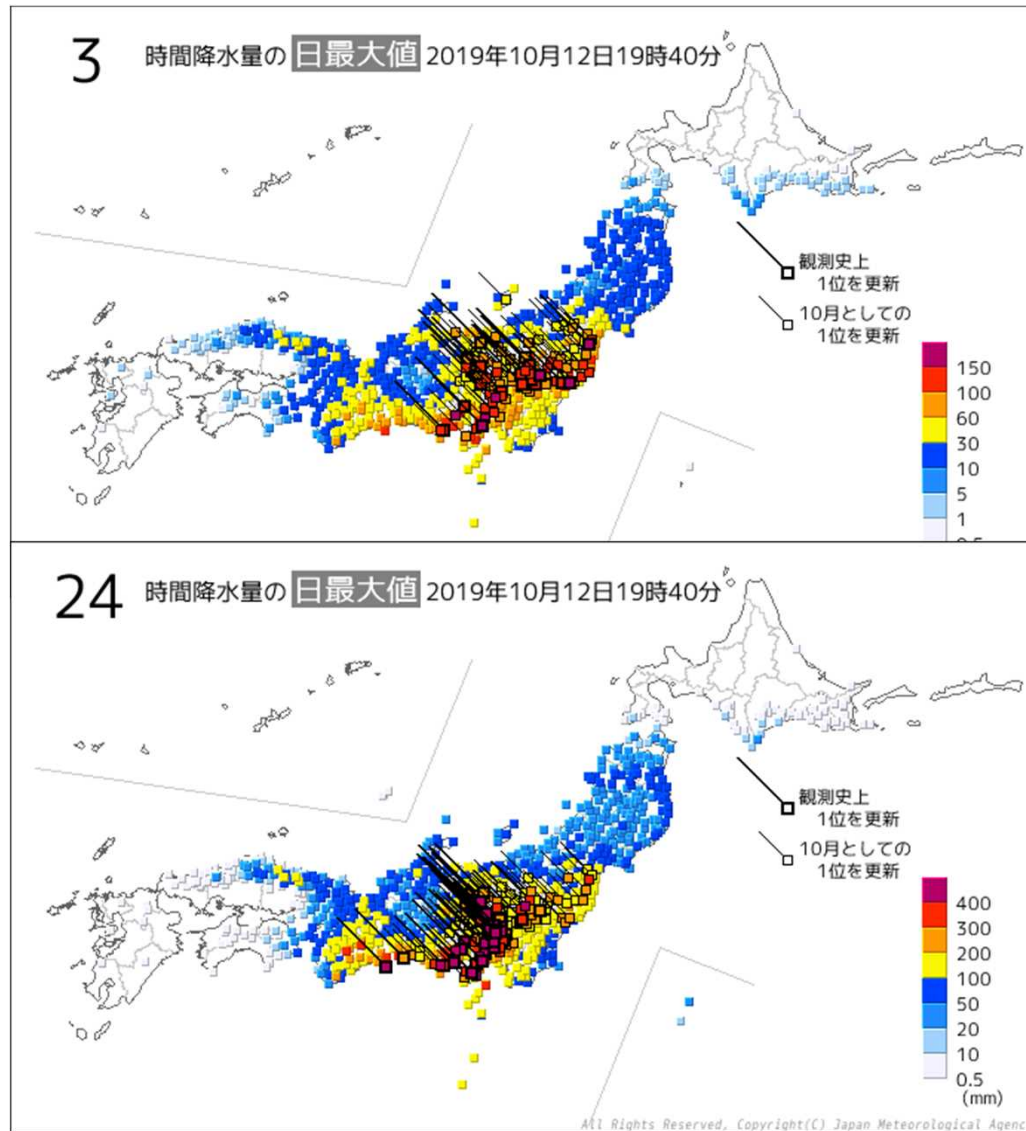


気象衛星(赤外画像)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(衛星画像：<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>)

気象実況(降水量)

10月12日
20時時点の資料



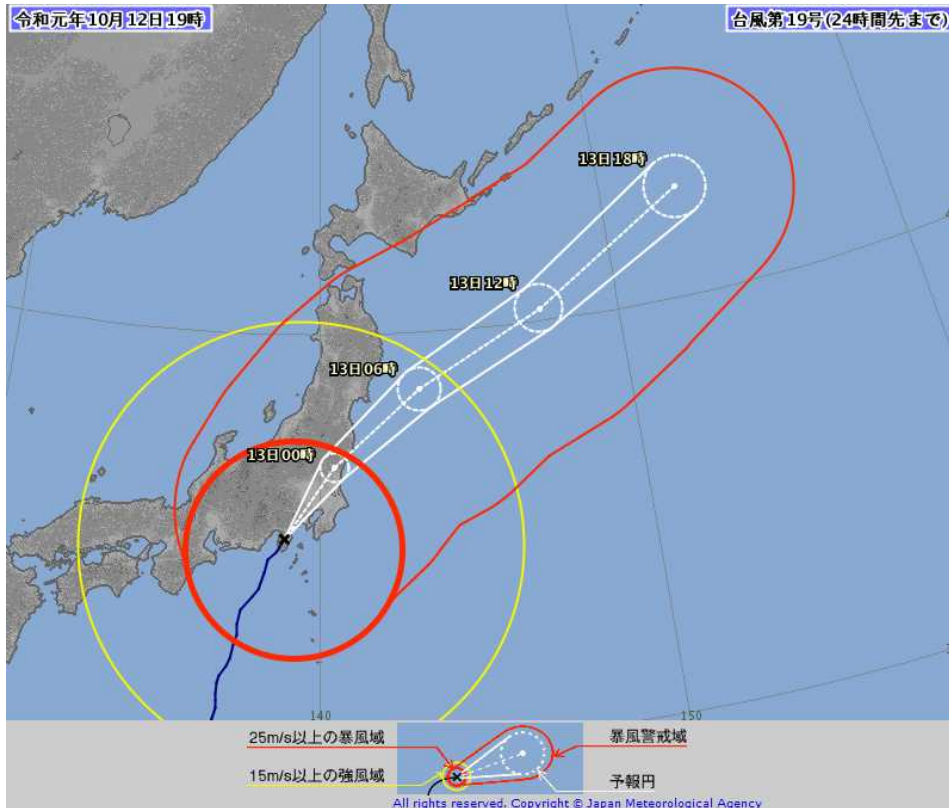
3時間降水量の 日最大値

24時間降水量の 日最大値

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(最新の観測データ：https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html)

台風の見通し

10月12日
20時時点の資料



大型で強い台風第19号は、12日19時には伊豆市付近にあって、1時間におよそ35キロの速さで北北東へ進んでいます。
中心の気圧は955ヘクトパスカル
中心付近の最大風速は40メートル、
最大瞬間風速は60メートルで中心の南東側330キロ以内と北西側260キロ以内では風速25メートル以上の暴風となっています。

台風の中心は、13日6時には釜石市の東南東約140キロを中心とする半径60キロの円内に達する見込みです。
中心の気圧は975ヘクトパスカル
最大風速は35メートル、
最大瞬間風速は50メートルが予想されます。
予報円の中心から半径390キロ以内では風速25メートル以上の暴風域に入るおそれがあります。

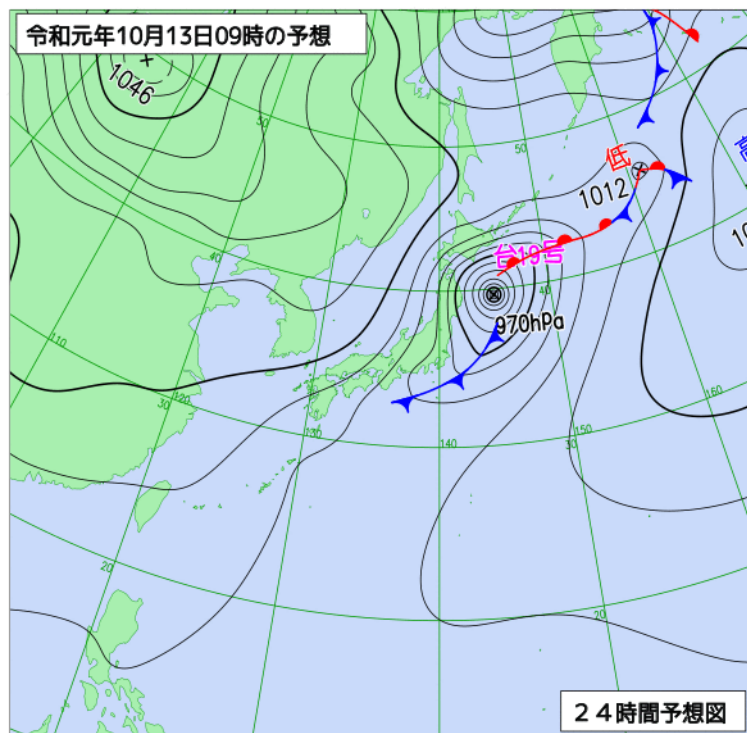
台風経路図 (10月12日19時発表)

台風予報

今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(台風情報：<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

今後の見通し

10月12日
20時時点の資料



東北地方、北陸地方、関東甲信地方、東海地方では、非常に激しい雨や猛烈な雨が降っており、土砂災害や洪水の危険度が広い範囲で高くなっています。13日明け方まで猛烈な雨や非常に激しい雨が広い範囲で断続的に続き、危険度の高い領域がさらに拡大するおそれがあります。

12日18時から13日18時までに予想される24時間雨量(多い所)

東北地方	300ミリ
北陸地方	400ミリ
関東甲信地方	250ミリ
東海地方	150ミリ

予想天気図 (10月13日9時予想)

雨量の見通し

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(予想天気図：<https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)

(気象情報(雨の見通しなど)：<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>)

今後の見通し

10月12日
20時時点の資料

【暴風と高波の見通し】

13日にかけて、東日本や北日本の広い範囲で猛烈な風が吹き、記録的な暴風となるところもある。太平洋側では、猛烈なしけが続く。

量的予報

13日までに予想される最大風速（最大瞬間風速）

東海地方、伊豆諸島	45メートル（60メートル）
関東甲信地方	40メートル（60メートル）
東北地方	35メートル（50メートル）
北陸地方	27メートル（40メートル）

13日までに予想される波の高さ（最大）

東海地方、関東地方、伊豆諸島	13メートル
東北地方	11メートル
北陸地方	7メートル

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

（気象情報（雨の見通しなど）：<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>）

雨と風の強さの見通し

10月12日
20時時点の資料

	日 時間	12日	13日			
		21-24	00-03	03-06	06-09	09-12
東北地方	風	猛烈	猛烈	猛烈	猛烈	非常に強い
	雨	猛烈	猛烈	非常に激しい	激しい	
関東甲信地方	風	猛烈	猛烈	非常に強い	非常に強い	強い
	雨	猛烈	非常に激しい	激しい		
北陸地方	風	非常に強い	非常に強い	非常に強い	強い	強い
	雨	猛烈	非常に激しい	激しい	強い	
東海地方	風	非常に強い	非常に強い	非常に強い	強い	強い
	雨	激しい	激しい	激しい		

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象情報(雨の見通しなど) : <https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>)

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報(大雨、洪水、暴風(雪)、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける)

<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

- 危険度分布(どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示)

土砂災害
浸水害
洪水

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

- 各地の気象情報(気象概況や大雨の見通し)

<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

- 台風情報(台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)

<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html

- 指定河川洪水予報(国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)

<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>

- 土砂災害警戒情報(命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける)

<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

- 最新の気象データ(雨雲の動き、レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像)

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html

<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>

- 11か国語による防災気象情報の提供

<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>



気象庁HPのバナーをご利用ください。



気象庁防災情報
Twitter

@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

(本報道発表に関するお問い合わせ)

気象庁予報部業務課:03-3211-8302

大雨特別警報※とは

位置づけ・役割

<位置づけ>

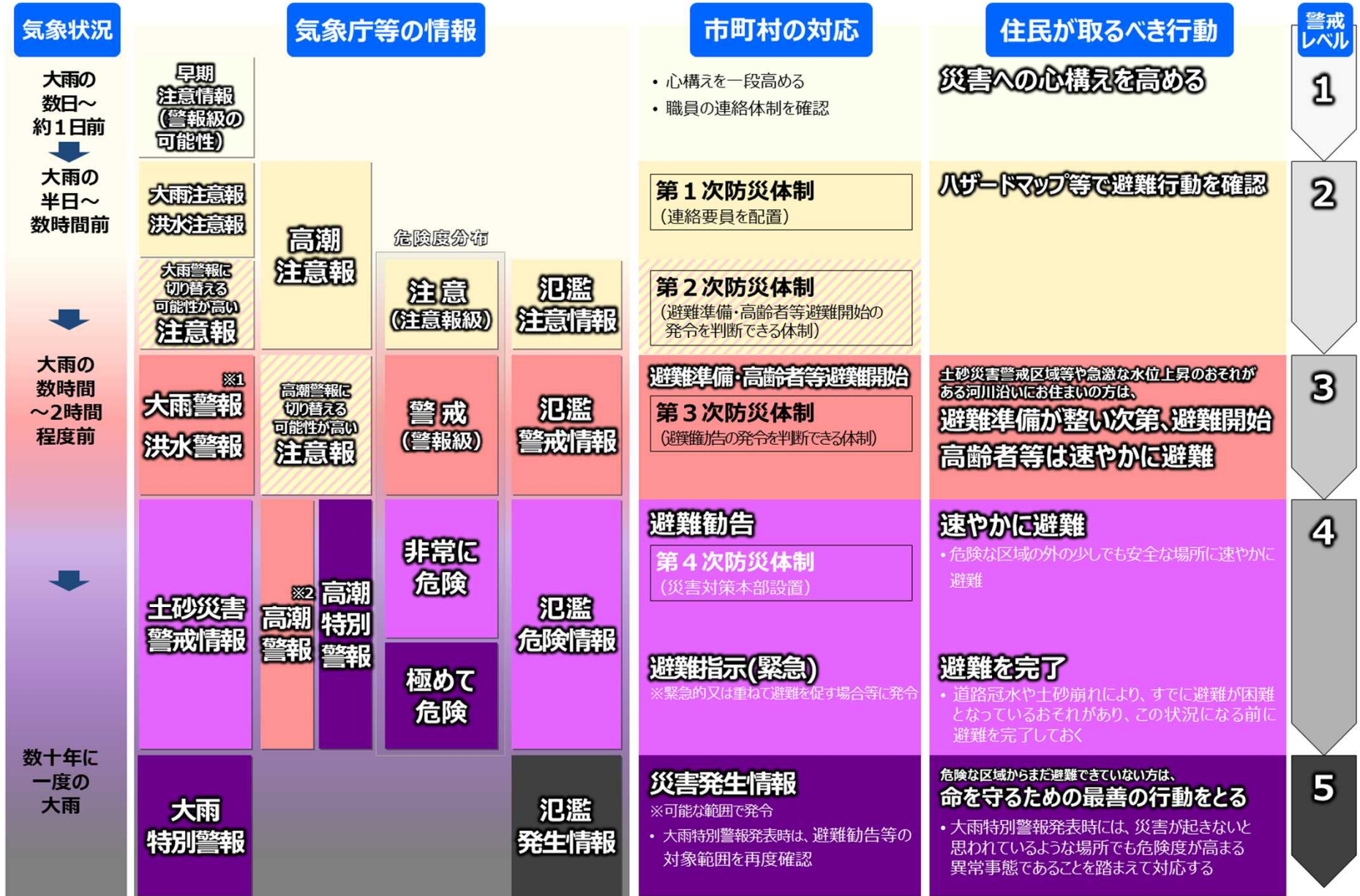
大雨特別警報は、避難勧告や避難指示（緊急）に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

※ 雨を要因とする大雨特別警報を指す。

(参考) 段階的に発表される防災気象情報の活用例



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

(参考)「危険度分布」の通知サービスについて

- ▶ 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を開始しました。
- ▶ この通知は市町村からの避難勧告等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難勧告等を確認するとともに、避難勧告等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「危険度分布」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。